

# 安全報告書(2017年)

## ご挨拶

秋田市太平山スキー場「オーパス」をご利用頂き、誠にありがとうございました。

今シーズンは、暖冬傾向による積雪不足から当初予定した12月18日の営業開始が1月7日となり、十分な営業ができませんでしたが、期間中、施設を利用する皆様のマナーある利用により、大きな事故も無く営業を終えることができましたことに感謝申し上げます。

来シーズンは、スキー場開業25周年であり、楽しい企画を考えて、皆様に楽しんでもらえるよう工夫してまいりますので、より多くの方々のご来場をお待ちしております。



太平山観光開発株式会社  
代表取締役社長 中野 鋼一

## 『安全方針について』

平成18年10月1日の鉄道事業法の改正を受け、「安全管理規程」等を整備・運用し、『利用者の安心・安全』を常に心掛け、日々の施設運営に取り組んでまいります。

## 『輸送の安全を確保するための基本方針』

- 1 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
- 2 輸送の安全に関する法令および関連する規定を良く理解すると共にこれを遵守し、厳選忠実に職務を遂行します。
- 3 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- 4 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- 5 事故、災害等が発生した時は人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- 6 常に問題意識を持ち必要な変革に果敢に挑戦します。

前述の基本方針を実行するため安全輸送の管理体制や索道施設の保守および運行の管理の方法を作成し、安全管理規程に明記しております。

これらはすべて利用者の安全を確保するものであると同時に私達働く側も安全な作業を行うための大切な規程なのです。

## 『安全に対する取組み』

### (1) 安全教育

輸送の安全性向上を図るためには、知識・技能の向上及び従業員の教育の充実を図ることが重要と考え、各研修会への参加及びシーズン営業開始前に索道施設の基本的な知識に加え、安全に対する知識、責任の重さ、的確な判断力といったものを指導しています。

- ・索道メーカー（日本ケーブル） NC テクニカルセミナー受講
- ・東北索道協会 秋田地区部会技術研修会受講
- ・東北索道協会 索道技術管理員等講習会受講
- ・東北索道協会 秋田地区部会スキー場安全研修会受講

### (2) 緊急時対応訓練

スキー場オープン前 11/10・12/10 の計 2 日、リフト係員と関係社員に安全研修会および救助訓練を実施、安全管理規程の説明後安全意識の向上と索道係員服務規定、索道整備細則の再確認を行いました。従事経験等の違いから理解の差があるので現場での研修も含めて今後進めていきたいと思っています。

※ 始業前毎朝ミーティングを行い、気象状況やリフトの状態・人員配置の確認及び安全に関する情報交換を行い、各担当リフトの始業点検及び救助体制の確認を行いました。

### (3) 強風対策

各リフト最終支柱に風速計を設置し、風速の把握をしています。風速の表示が 15M/S 以上 18M/S 未満で警戒運転、18M/S 以上の風速が 5 秒間持続すると運転を停止します。

### (4) AED の設置

2005 年 7 月から法改正により非医療従事者による AED（自動体外式助細動器）の使用が認められ、パトロール詰所に設置し秋田消防本部より講師を招いて講習会を実施して緊急時の対応をとっております。

## 講習会、安全教育の実施状況



H28/6/17 NC テクニカルセミナーにて



H28/12/10 オーパスプラザ火災発生を想定しての消火訓練実施状況



H28/12/10 第三ペアリフトにて従業員教育での救助訓練状況



H28/12/10 AED（自動体外式助細動器）講習状況

## 『安全に関する組織体制』

安全運行に取り組むため安全管理意識を構築し、各責任者の責務を明確にしています。  
別紙1をご参照下さい。

## 『整備の実施について』

オーパススキー場ではシーズン中に保守管理計画を作成し、春から秋にかけて整備点検を実施しております。今シーズンに於いては次に掲げる主な整備を行いました。

### 【社外修繕】

- ① 第一クワットリフト（高速クワットリフト）
  - ・ 握索装置 25 台 3 年オーバーホール
  - ・ 山麓山頂場内押送従動プーリーオーバーホール 4 台
  - ・ 山麓山頂場内押送ユニバーサルジョイント更新 4 台
  - ・ 14 号支柱・13 号支柱・12 号支柱各受索装置ビームピン、ブッシュ更新
  - ・ 原動緊張設備全面塗装及び室内通路補修
  - ・ 山頂制御盤内シーケンサー更新
  - ・ 山頂監視室南面外壁張替及び窓、窓枠更新
  
- ② 第二ペアリフト
  - ・ 原動緊張設備室内通路補修及び塗装
  - ・ 山麓監視室屋根張替
  - ・ 山頂停留所ステージ板一部張替
  
- ③ 第三ペアリフト（第一ペアリフト）
  - ・ 非常用制動機変更更新（H28.9.23 付 認可申請済）
  - ・ 制動機油圧ユニットオーバーホール
  - ・ 油圧緊張ユニット内ファンクーラー交換
  - ・ 原動緊張設備油圧緊張目盛用フレーム交換
  - ・ 山頂停留所ステージ板一部張替

### 【社内修繕】

- ① 全リフト
  - ・ 各支柱受索輪点検整備給油脂
  - ・ 支えい索点検測定給油脂
  - ・ 折り返し設備、保安設備、予備原動設備等点検整備
  - ・ 各搬器点検給油脂

② 第一クワットリフト (高速クワットリフト)

- ・ 握索機1年点検整備 52台
- ・ 場内設備押送Vベルト交換 115本
- ・ 場内設備押装プーリーコート剤塗布 176台
- ・ 場内設備押送タイヤ空気圧調整全 176本
- ・ 山麓場内設備押送タイヤ4本、山頂場内設備押送タイヤ6本交換
- ・ 山麓場内設備押送テンションプーリー内部ベアリング交換 全39箇所
- ・ 13号支柱実線側受索装置手前5番及び14号支柱実線側受索装置手前5番  
索輪交換 計2本
- ・ 通信用電池3V用交換 4個

③ 第二ペアリフト (第二ペアリフト)

- ・ 握索装置 タンクケース・皿バネ分解整備 141台
- ・ 握索装置 タング交換 49本
- ・ 81番搬器握索装置メインパーツ交換
- ・ 減速機ギアオイル交換 100リットル
- ・ 油圧緊張作動油交換 120リットル及びラインフィルター交換
- ・ 減速機バックストップ油脂交換
- ・ 2号支柱実線側受索装置手前4番、索輪交換
- ・ 1～40番搬器両側手摺交換
- ・ 山頂停留所ステージ板塗装

④ 第三ペアリフト (第一ペアリフト)

- ・ 握索装置 タンクケース・皿バネ分解整備 173台
- ・ 握索装置 タング交換 10本
- ・ 4号支柱実線側受索装置手前1番索輪交換
- ・ 通信用電池交換 1個
- ・ 減速機バックストップ油脂交換
- ・ 山頂停留所ステージ板塗装

※ 整備予算については、年々厳しい状況ではありますが、秋田市と連携してお客様の「安全第一」をモットーに優先順位を定め、計画的に実施してまいります。

## 『ご利用の皆様へのお願い』

輸送の安全を実現するうえでは、リフトをご利用いただく際、皆様のご協力が必要となります。スキー場の利用にあたっては、責任と義務が伴います。以下の注意事項を守ってください。

### 【リフト乗車時の注意事項】

1. リフト乗車に慣れていないお客様は、係員にお申し出ください。
2. リフト椅子に衣類等のひもが絡まないよう注意してください。
3. ボーダーは、流れ止めをつけ、ハイバックをたたんでください。
4. 高速クワットリフト乗車時、危険防止のため必ずセーフティーバーを下げてください。
5. 係員の指示に従ってください。
6. 乗車時、以下の事項を守ってください。
  - ① リフトから飛び降りたり、リフトを揺らさないでください。
  - ② リフトから物を投げ捨てたり、物を落とさないよう注意してください。
  - ③ リフトが非常停止しても飛び降りないでください。
  - ④ リフト降車時降りられなかったら、そのまま椅子に座っててください。

### 禁止事項

1. 指定コース以外の立入禁止区域への進入
2. ゲレンデにペット等を放つこと
3. アルコールや薬物又はその他により、心身が正常でない状態での入場

今年度、1月に索道係員が怪我をする事故が1件、2月に積雪による倒木のため、リフトが緊急停止する事象がありました。

リフト緊急停止の際は、利用者の皆様には大変ご迷惑おかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は、これまで以上に安全管理を行い、再発防止に努めてまいりますので、来シーズンもスキー場へ足を運んでくださるよう、お願いいたします。

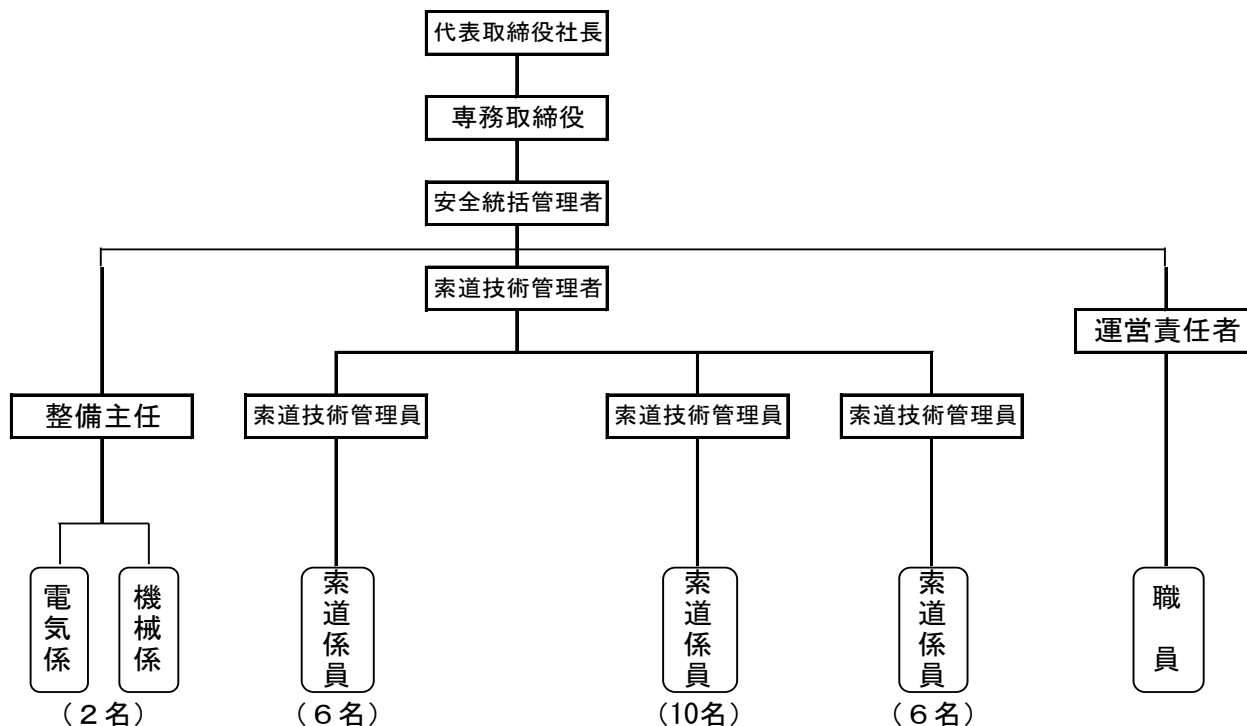
来シーズンは、より安全で楽しいスキー場にするため、職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご愛顧を賜りますようよろしくお願いいたします。



秋田市太平山スキー場オーパス  
太平山観光開発(株) 索道技術管理者

## 秋田市太平山スキー場安全管理組織および責務

### 1 安全管理組織図



### 2 責務について

- ① 代表取締役社長：輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 専務取締役支配人：スキー場事業の管理業務全般を統括する。
- ③ 安全統括管理者：索道事業の輸送安全の確保に関する業務を統括する。緊急、重要案件について提案し、会議において意思決定を行う。
- ④ 運営責任者：スキー場事業の運営に関する業務を統括する。
- ⑤ 索道技術管理者：安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- ⑥ 整備主任：索道に関わる施設・設備の補修、保守管理等を行う。
- ⑦ 索道技術管理員：索道技術管理者のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。
- ⑧ 索道係員：係員は運転、監視、乗客、改札係を示し、索道係員服務規程に基づき、業務を行う。